

平成 26 年度第 2 回浦安市児童センター運営懇談会会議録

- 会議資料 別紙参照
- 開催日時 平成 26 年 12 月 11 日（木）午後 6 時 30 分～8 時 00 分
- 開催場所 高洲公民館 2 階 研修室
- 出席者 9 名 委員名
 - （委員） 江黒委員（浦安市小中学校校長会）
 - 中島委員（民間有識者 NPO 法人 i-ネット）
 - 牟田委員（民間有識者 浦安子ども劇場）
 - 本田委員・岡田委員（民生委員・児童委員協議会）
 - 橋本委員（青少年相談員連絡協議会）
 - 奥村委員（子ども会育成連絡協議会）
 - 岡本委員（こども部保育幼稚園課長）
 - 岡部委員（こども部青少年課長）
 - （事務局）（こども部児童センター）
 - 東野児童センター：河野所長・岡崎・竹森・小野寺・小林・中里
 - 高洲児童センター：吉田所長・岡本・山口・飯沼

- 開会
- 東野児童センター所長挨拶
- 委嘱状交付
- 自己紹介
- 会長選出
 - 委員の互選により江黒委員（小中学校校長会）が会長就任
- 会長挨拶（江黒会長）
- 副会長選出
 - 委員の互選により岡本委員（こども部保育幼稚園課長）が副会長就任
- 議 事
 1. 平成 26 年度前期事業報告について
 2. 平成 26 年度後期事業計画について
 3. その他

◎議事進行（江黒会長）

議事 1・2 について 児童センターごとに事業内容を報告

● 東野児童センター

(1) 平成 26 年度前期事業報告について

| | 行 事 |
|------|--|
| 4 月 | みんなおめでとう S P (4/3 スーパーボールすくい)、 かけっこ教室 (4/27) |
| 5 月 | こどもまつり (5/5)、かけっこ教室 (5/11)、 母親講座 (リフレッシュヨーガ) (5/29) |
| 6 月 | スケッチ講座 (6/1)、県民の日イベント (6/15)、 ①お父さんも一緒に赤ちゃんサロン (6/22) |
| 7 月 | Uセンターまつり参加 (7/19)、灯りをデザイン (7/20)、 ②赤ちゃんとおぼろ (7/22・29)、葉脈のしおり (7/24)、 ゆかたに着替えよう (7/26)、卓球大会 (7/27)、映画会 (7/30)、 ミニミニ縁日 (7/31) |
| 8 月 | オセロ大会 (8/5)、とび箱教室 (8/6)、打ち水大作戦 (8/6・8・20・22)、 水鉄砲大会 (8/7)、ドッジボール大会 (8/14)、科学実験教室<鏡の不思議 (8/19)、 虫眼鏡の秘密 (8/20)>、ドミノ大会 (8/21)、卓球大会 (8/23)、 富岡自治会まつり参加 (8/23)、ベーゴマ大会 (8/30) |
| 9 月 | かけっこ教室 (9/14)、子育て応援メッセ参加 (9/27) |
| 10 月 | 親子一輪車教室 (10/5・12)、紙粘土でつながるかたちを作ろう (10/5)、 はじめてのコンサート (10/11)、市民まつり参加 (10/18・19)、 お父さんも一緒に赤ちゃんサロン (10/25) |
| 11 月 | あきまつり (11/10) |

・個別報告

① お父さんも一緒に赤ちゃんサロン

平成 20 年から始めて、年間 4 回開催。

父親にも子育ての楽しさ、赤ちゃんのかわいらさを感じてもらい、父親としての意識を高め、育児に積極的に協力できるよう始めた事業。

父親同士が話をするなかで子育てに役立つ情報の交換、赤ちゃんと一緒に楽しむ方法を伝えあうことも期待している。

また、多くの父親の参加を期待して土・日曜日に開催している。

父親から母親への感謝の気持ち、赤ちゃんが生まれてから気づいたことなどの話をしてもらい、父親の熱い感謝の思いを聞いた母親達はとても喜んでいました。

今年度は父親から母親へのプレゼントづくりの時間を設け、バルーンアートやペーパーフラワーの花束などを制作、プレゼントし、大変喜ばれた。

② ふれあい体験事業、赤ちゃんとおそぼう

7月中の夏休みに小・中学生が赤ちゃんサロンに参加して触れ合うなかで、赤ちゃんに愛着を感じてもらうことを目的に開催している。

事前にこども達に注意事項をレクチャーし、参加してもらう。

参加の母親には、将来を担うこども達のために、兄弟姉妹の少ない現代っ子に小さいうちから赤ちゃんに触れ合って、かわいらさを実感したり、触れ合い方を学んでもらい、少子化・虐待防止に歯止めをかけたい趣旨を伝えた。今年2回行い、自由研究の題材とするこどももいた。

こどもは、赤ちゃんの愛おしさや生命の重みを実感し、感動してくれた。

母親は、わが子の将来の姿を投影しているようにも思えた。と話している。

次年度参加者の拡大を図り、回数を増やす計画をしている。

ふれあい体験は、こども達にとっても、母親や赤ちゃんにとっても良い経験になった。将来、この体験が母親となった時に役立ち、また、職業として役立ってくれればと思う。

③ 夏休み事業

ア 灯りをデザイン；LEDを使った工作

イ 木材でつくろう；お楽しみ工作の一つ

ウ 葉脈のしおり；東海大浦安中・高校の化学部生徒の協力によるしおり作り。

エ 科学工作；

- ・虫眼鏡の秘密；創作作家の柴田先生による虫眼鏡教室

- 虫眼鏡で焦点を合わせる。虫眼鏡カメラの制作

- ・鏡の不思議；鏡を2枚使うとどう見えるのか。お金が消える貯金箱の制作。

オ 各種大会；水鉄砲大会、ドッジボール大会、卓球大会

カ 跳び箱教室；苦手な跳び箱を克服し飛べるようになる。

キ ふれあい体験事業、赤ちゃんとおそぼう

ク ミニミニ縁日；キッズスタッフによるお化けをテーマにした縁日

(2) 平成 26 年度後期事業計画について

| | 行 事 |
|------|---|
| 12 月 | おたのしみ会 (クリスマス会)、ドッジボール大会 |
| 1 月 | お正月あそび、紙の造形 (工作教室)、お父さんも一緒に赤ちゃんサロン、親子で遊ぼうフルーツキャンディースペシャル |
| 2 月 | ダンボールタウン |
| 3 月 | ダンボールタウン、ひなまつり飾り、お父さんも一緒に赤ちゃんサロン、ドキドキマジックショー、KODOMOカーニバル (ドッジボール大会、鉄棒逆上がり教室、万華鏡作り、ハッピー劇団卒業公演、フットサル体験) |

● 高洲児童センター

(1) 平成 26 年度前期事業報告について

| | 行事 |
|------|---------------------------------------|
| 4 月 | |
| 5 月 | こいのぼりはし袋作り、母の日カード作り |
| 6 月 | 県民の日事業 (万華鏡作り、人形劇「やまいも」)、地震避難訓練 |
| 7 月 | つくってみよう (工作)、お兄ちゃんお姉ちゃんと遊ぼう |
| 8 月 | ステンシル作り、つくってみよう (工作)、夏のおたのしみ会 (マジック等) |
| 10 月 | 高洲公民館文化祭 (巨大ジェンガ、ダンスパフォーマンス)、ハロウィン事業 |
| 11 月 | 読書週間事業 (エプロンシアター等) |

(2) 平成 26 年度後期事業計画について

| | 行事 |
|------|------------------------------|
| 12 月 | バランス事業、妖怪やしき、クリスマスショー |
| 1 月 | |
| 2 月 | |
| 3 月 | トイレジャーハンティングショー (劇)、春のおたのしみ会 |

議事 3 その他

シューズプロジェクトについて (東野児童センター)

- ・平成 24 年度からリベリアに運動靴を送っている。
- ・こども達に物を大切にすることや命の大切さを理解してもらう。
- ・11/21 の市長の定例記者会見でも取り上げてもらった
- ・東海大浦安高校にリベリア大使館からお礼状が届き、東海大浦安高校をはじめ、東京学館浦安高校、そして東野児童センターの名前も載っている。
- ・今年度から高洲児童センターでも受付を始める。

質疑応答

Q：日常的な子ども達の様子、特に中・高校生の様子を聞きたい。

A：(東野) 中・高校生は、小さい頃から来ていた子どもが今までの延長で来ている。

やはり居場所がない問題を抱えた子どもが多いのではないか。

(高洲) 公民館と併設しているため、勉強の合間に休憩がてら、卓球をしたり、漫画を読んだりしている。小学生と一緒に遊ぶ中高生がみられ、それに伴いトラブルが増えている現状もある。

Q：盗難に対するその後の対策や改善について

A：(東野) ゲーム機がなくなったことがあり、防犯カメラの設置、受付に「貴重品を鍵付きロッカーに入れる」看板の掲示をした。それ以降、大きな盗難はない。

(高洲) 防犯センター、警察に現状を見てもらいどのような点を改善すれば良いか相談をした。死角に荷物を置いていることを指摘され、ロッカーの場所を職員が目につきやすい出入口側に移動した。今のところ盗難はない。今後の対策としては鍵付きのロッカーや防犯カメラの設置を考えている。

Q：中学3年生の学校に行きづらくなった子どもが、今まで通っていた児童センターの先生に励まされて卒業できるようになったという話を聞いた。

A：(東野) 職員が親身になって相談を受けている。解決が難しいものは、他の機関との連携を図っている。

会長：いろんな受け皿があることが子ども達を救っているのではないか。

Q：シューズプロジェクトについて近隣の小学校に啓発しているのか。

A：小学校には12月・1月のお知らせに載せ、周知を図っている。

：館内に昨年度のシューズプロジェクトの報告、お礼状の写しやリベリアに興味をもってもらうために地図などを掲示している。

：東海大浦安高校では、2月にリベリア大使を招待しプレゼンテーションを催す予定。

○ 閉会